

だい きやまとしたぶんかきょうせいかいぎ だい かいがいぎろく ようやく
第3期大和市多文化共生会議 第7回会議録(要約)

にちじ ねん がつむいか にち
日時: 2013年10月6日(日) 13:30 ~ 14:50

ばしょ ざいにち ぶんか あいかわまち
場所: 在日ラオス文化センター(愛川町)

しゅっせき いいん あらいまさのり いしま いとうひろこ いとうもとみ きくちけんいち こ
出席: 委員(新井政則、石間フロルデリサ、伊藤裕子、伊藤素美、菊池健一、小
ばやし やまだちよんあ しみずむつみ やまとしこくさい だんじょきょう
林ホルヘ、山田静娥) / ファシリテーター 清水睦美 / 大和市国際男女共
どうさんかくか ふなこしえいいち こうえきざいだんほうじんやまと しこくさいかきょうかい たなかひろこ こにし
同参画課 船越英一 / 公益財団法人 大和市国際化協会(田中弘子、小西
えりこ いしかわかずとも いじょう めい
永里子、石川和友) 以上12名

けっせき いいん いなふく おかざき こんのまさる みやじまこう
欠席: 委員(稲福スーザン、岡崎チャメイン、紺野勝、ファン チィ フォン、宮嶋耕
じ けいしょうやく
治)(敬称略)

1 これまで話し合ってきた災害時の外国人支援

やまだ いいん はな あ さいがいじ がいこくじん しえん
山田委員からこれまで話し合ってきた災害時の外国人支援についてまとめてもらった。

2 在日ラオス協会との意見交換及び質疑応答

さいがい かん げんじょう ほうじんざいにほん きょうかい
災害に関する現状について NPO法人在日本ラオス協会のメンバーにうかがった。

さいがいじ
災害時のこと

だんたい きょうしつ かんが
団体 / 教室 / グループで考えていることはありますか？

かくちいき あいかわまち さがみはらし あつぎし えびなし ざまし やまとし ふじさわし ひら
、各地域(愛川町、相模原市、厚木市、海老名市、座間市、大和市、藤沢市、平
つかし はだのし しずおかけん みしまし ぬまずし さいたまけんかわごえし てがみ でんわ
塚市、秦野市、静岡県三島市、沼津市、埼玉県川越市など)で手紙、電話、
facebook を使って連絡を取り合う。横浜は入っていないが、普段から近くの人同士で
じょうほう つた
情報を伝えあうようにしている。

がいこくじんとうろくしゅう ふうちょう
、外国人登録証のコピー、パスポートのコピー、通帳、ハンコをしまっておくようにす
る。もし、パスポートがなくなってしまうたら、在日本ラオス大使館も対応できない。

かくかてい のもの たもの じゅんび たと みず (すり) かいちゅうでん
、各家庭で飲み物、食べ物を準備しておくこと。例えば、水、ラーメン、薬、懐中電
とう ラジオなど、特に赤ちゃんがいる家庭ではミルクを余分に準備しておくように伝え
ている。

じっさい じゅんび
ただし、実際に準備してくれているかどうか、そこまではわからない。個人的には、玄
かん
関にあらかじめリュックサックを準備している。

じん じちかい ちいき ひと さいがいじ こうどう かんが
ラオス人が自治会など地域の人たちと災害時に行動することは考えられますか？

たと ひらつか はだの だんち じちかい だいいょう こうたい じん かならず
例えば、平塚や秦野の団地では、自治会の代表が交代するとき、ラオス人も必ず交

代して自治会の代表に連絡を入れるようにしている。地域の決まりごとなので、ラオス人は全員、自治会に入っている。

連絡をとりあうこと

普段、どのように連絡をとりあっていますか？

イベントがあるときは、各地域の代表者にちらしを郵送している。例えば、平塚に30世帯あったら、30枚のちらしを同封して、配布してもらう。最近ではfacebookを通じてイベントのお知らせをしている。

今では、facebookを使って毎日のように連絡を取り合っている。facebookは情報のやり取りに便利で写真をのせられるのでわかりやすい。情報はラオス語(もしくはタイ語)、日本語(もしくは日本語のアルファベット表記)の併記でお知らせしている。中にはローマ字(アルファベット表記)の日本語でコメントする人もいます。比較的短い文章でやり取りしている。

親の世代(50~60歳代)はラオス語、子どもの世代(20~30歳代)は日本語を使っている。携帯電話のほか、パソコンを利用している。

また、誰かが亡くなったときなど各地域の代表から連絡が来るときもある。

スカイプやラインなど、インターネットを使った無料通話サービスを利用していますか？

利用している人は少ない。日本語が多少できる人なら利用している場合が多い。また、子どもがいる家庭だと、利用しているケースが多い。

とはいえ、facebookに関してはどの年代も利用している。子どもたちはお互いに日本語を使って連絡を取り合っている。ラオス語は読めない。

最近、ラオスから来日している人はいますか？そのような人が日本に来て困っていることはどのようなことでしょうか？

妻や子どもの呼び寄せで来日する機会が多く、特に来日して5年以下だと日本語にも不自由しているため、困りごとに対処することもある。例えば、子どもの学校関係、病院、会社の面接での付き添いなど。また、来日後に妊娠した場合、出産まで病院に付き添うこともある。そのほか、在留資格の更新、納税証明書の発行など。対応策として大事なことを日本語とラオス語で明記したメモをサイフに入れておくように伝えている。

さいがい とき れんらくしゅだん
災害の時の連絡手段をあらかじめ決めていますか？

さいきん ぶんが くま じこ けいたいでんわ れんらく
最近、このラオス文化センターに車がぶつかる事故があり、すぐに携帯電話で連絡を
と あ さいがい とき おな きんぎゅう かくちいき だいひょう けいたいでんわ つか れん
取り合った。災害の時も同じで、緊急のときは各地域の代表と携帯電話を使って連
らく と あ れんらくもう き
絡を取り合うことになる。その連絡網はずでに決まっている。

ひ なんくんれん
避難訓練について

さいがい とき ひなんじょ し
災害の時の避難所を知っていますか？

し ひと めい し ひと めい し かいとう ひと めい
「知っている」人が 3名、「知らない」人が 4名。「知らない」と回答した人のうち、1名は
ちか にほんじん いっしょ こうどう かんが
「近くの日本人と一緒に行動する」ことを考えている。

さいがい とき こま こと そうだん とき だれ おも う
災害の時に困った事を相談する時、誰を思い浮かべますか？

いま とく おも う できるだけ じぶん かいけつ かんが
今のところ、特に思い浮かばない。できるだけ自分たちで解決しようと考える。また、
わたし くる せいかつ な 慣れて いるため やま かわ がある この土地 でなら さいがい とき
私たちは 苦しい生活なら慣れて いるため、山と川があるこの土地でなら、災害の時
なん せいかつ おも じっさい さいがい とき ぶんが ぶ じ
も何とか生活できると思う。実際、災害の時にこの文化センターが無事ならたくさんの
ラオス人 じん あつ
が集まってくるのではないかと。いずれにしても、30年以上日本に住んでいる
が、さいがい けいけん ない ので 想像 つかない。

がいこくじんせんよう ひなんじょ りよう
外国人専用の避難所があれば、利用しますか？

りよう しない ひと めい りゆう なが にほん にかい
「利用しない」人が 4名。理由は「長くに日本に暮らしており、日本のルールを理解してい
る気持ちもあるので、何かあっても一緒にいた方がいいのでは」「日本人と一緒に行動
した方がよい」など。

りよう する ひと めい りゆう にほんご じょうず ひと にほんじん いっしょ
「利用する」人が 1名。理由は「日本語が上手な人なら日本人と一緒にいてもいいが、ヘタ
な人は苦しいような気持ちがある。ラオスの人ならラオスの人でまともでもいいかと
おも
思う」。

にほんご ていじゅうなんみん ねんいじょうにほんす
日本語のレベルについては、定住難民であれば 30年以上日本に住んでいるので、で
きる人が多い。ただし、呼び寄せで来日している場合、できない人が多い。

さいがい どうろく どうろく
災害ボランティア登録があったら、ボランティア登録はできますか？

どうろく できる ひと たすう にほんご じしん ひと ばあい むずか ことば
「登録できる」人が多数。ただし、日本語に自信がない人の場合、難しい言葉がわか
らないので、どれだけできるかわからない。荷物を運ぶなど、単純な作業であればで
きる。

そのほか

災害が起きたときに、行政から出される情報はどのような方法で提供してほしいですか？

電話やインターネットが通じないと困るし、災害が起きたらこちらは待っている他ない。災害ではなく日常の情報提供であれば、ペーパー(紙)がいい。ペーパーが一番いいのは確かだが、あわせて facebook などでも情報があるといいと思う。

災害時に、この場所は、どのように使うことになりませんか？

埼玉から静岡までの範囲に住んでいるラオス人のための情報センターにしようと考えている。これまでも、仕事や家がないラオス人をこの文化センターに受け入れてきた。

災害多言語支援センターには、どのようなことをしてほしいですか？

ラオス語での通訳や翻訳、お知らせの翻訳を配布してくれたらいいと思う。病院での通訳もあったらいい。

現在、団体が抱えている一番の問題は何ですか？ そうした問題のうち、防災はランキングで言うと、どのくらいの位置ですか？

まず、NPO として10年ほど活動しているが、ラオスからお坊さんと呼ぶための飛行機代などの運営費が一番困っている。私たちは難民として日本政府に受け入れられたが、日本の習慣をすべて受け入れて生活していくことはできない。正月や葬式などラオスの行事を行うにはどうしてもお坊さんが必要で、お坊さんは誰もができるわけではないのでラオスから来てもらうほかない。

しかし、このラオス文化センターは宗教法人としては認可されていないので、現状ではお坊さんのビザが短期間(3カ月)しか認められない。そのため、1年に4回お坊さんと呼んでいる。今はみんなからの寄付に頼っている状態。解決策としては、お坊さんの滞在期間の延長が挙げられるが、宗教法人でないと延長は認められないとのこと。

そのほか、イベントを行うためのグラウンド(広場)がないこと。例えば、お坊さんを先頭にみんなでお祈りして練り歩く行事などがあるが、今はそのためのスペースが確保できない。

あとは、駐車場の問題。正月(4月)など本当に多いときは200台以上もここに集ま

る。イベントによっては、タイ人やカンボジア人も集まる。(ラオス人はタイ人やカンボジア人ともタイ語を使えば、お互いに話が通じる。)

また、長老がいないこと。一般的には、ラオス行事のやり方は長老のまねをして覚えるもので、長老がいなければ子どもたちがラオス文化を覚える機会がなくなってしまう。こうした習慣は学校では教えないもので、また、子どもたちの中でも興味ある人は少ない。おそらく、家庭で親が子どもに教えていないなどの影響もあるだろう。

この協会には、神奈川県内に暮らす 1,200人あまりのラオス人のうち、どのくらいの数のデータを持っていますか？

全体のおよそ半分くらいではないか。

現在も厚木市で週に 1回、ベトナム、カンボジアを含む難民の通訳相談を行っている。

30年経ってもあいかわらず問題はなくなる。例えば、老後の問題。日本人と同じかもしれない。年金を払っていなかった人、子どもと別居した人、職場を解雇された人など。

ほとんどのラオス人は親と同居している場合が多い。子が親の面倒をみる傾向が強いかもしれない。

(そのほか)

ラオスの人のほとんどは両親共稼ぎの場合が多い。つまり、災害が起こる時には職場にいる可能性が非常に高い。自治会など地域の人とはつながりがある場合が多く、自宅にいる時に被災したら問題ないかもしれないが、職場でのつながりはどうなっているかは不明で、職場にいるときに被災したらどうなるかは心配なところ。

3.11 の時は秦野におり、電車が止まってしまって、どうやって海老名にある自宅に戻ろうか考えていた際、同胞のラオス人に自宅まで送ってもらったことがある。こうした関係はずっと終わらないものだと思っている。

災害があったとき、両親は職場、子どもは学校にいる場合、連絡手段はどうしますか？

学校と保護者はメールや電話で連絡を取り合うことができる。ただし、子どもが学校にいない場合は連絡を取り合うことは難しい。今まで経験がないことなので、災害が起こったときにラオス人がどのような行動をとるのか本当にわからない。